

# 令和5年度県立都市公園管理運営検討委員会における意見等への対応状況

【御所湖広域公園】

委員からの意見	検討委員会時における指定管理者の回答	現在の状況
公園利用に係る更なる収入確保対策を検討すること。例えば、町場地区園地でのバーベキュー利用に関して付加的な利用料の徴収等を検討できないか。	バーベキュー利用者向けの用具の販売は可能と見込むが町場地区園地の職員配置との調整が必要。開園以来無料で使用いただいております、使用料徴収の理解が得られにくいので慎重な検討が必要。	町場地区園地はイベント広場や広い駐車場や芝生地などがあり、過去にもカーミーティングやバイクの試乗会等の開催実績があることから、それらの特色を発信し、イベント等を誘致することに取り組んだ。 ファミリーランドレクリエーション広場のメニューと利用時間設定の見直しなどを検討した。
路線バスの廃止に伴い、御所湖広域公園内の三大園地を周遊する場合の移動手段の確保が必要。レンタサイクルの利用者が増加しているが、御所湖広域公園の訪問には至っていないと思料。レンタサイクル利用者の誘導等も宿泊施設等と連携して対応できないか。	雫石町、盛岡つなぎ温泉協会と連携しながら、代替となる公共交通機関の確保に向けて働き掛けを進めていく。 レンタサイクルの利用者の確保に向けて、レンタサイクル貸出施設への情報提供等を進める。	公園利用者の主な交通手段は車であるが、周辺施設で行っているレンタサイクル等の代替手段の利用方法とその魅力などを提供し、各駅や路線バスの終点、宿泊施設からレンタサイクル、タクシー、レンタカーで来てもらえるようにしていく。現在、しずくいし観光協会とレンタサイクル貸出施設として乗り物広場を登録できるか調整中。他の代替手段も引き続き検討する。
御所湖広域公園艇庫との連携など、周辺観光地等との連携策の強化を。	周辺宿泊施設・観光施設との連携（情報の共有等）を進めていく。	宿泊施設、観光協会、艇庫、多目的運動場、御所ダム、手作り村など周辺施設を毎月訪問し情報の収集や提供を行い、相互紹介を図っている。また、「御所湖まつり」や「駅からハイキング」などイベントなどで協力している。
少子化の進行により従前のファミリー層中心の利用者以外のあらゆる年代の利用者層確保の取組を。	—	あらゆる年代の利用を基本に整備を進めている。その中でもメインターゲットは幼稚園・小学生等の親子遠足や団体で来る子供達と考えている。近隣の学校関係にアプローチして、団体利用などで思い出を作りのお手伝いをしていく。子供がファンとなってくれることから家族、仲間に利用の輪を広げていき、やがて、子どもが大人になってたくさんの仲間や恋人同士、夫婦、子・孫と共に利用してもらえるようにイベントや情報発信を取り組んでいきたい。